

卵巣癌・子宮体癌の INSL3・RXFP2 の発現と予後との関係

1. 研究の対象

1984年1月から2015年12月までの間に当院で卵巣癌・子宮体癌の診断で手術された方。

2. 研究目的・方法

Insulin like peptide 3 (INSL3)は1990年代に明らかとなったタンパク質です。元来哺乳類の精巣に発現していることが明らかにされ、男性において停留精巣との関連が近年の研究で明らかになってきました。また、女性に関しても報告があり、卵巣の莖膜細胞から分泌されているとの報告がありますが、その作用や発現頻度は未だに不明な点が多く研究も進んでおりません。その一方で INSL3 の受容体である RXFP2 は子宮内膜によく発現しているという報告があります。卵巣癌や子宮体癌には類内膜腺癌という子宮内膜に関連した癌があります。そこで今回我々はまず類内膜腺癌をはじめとした子宮体癌や卵巣癌の INSL3 や RXFP2 の発現の有無を調べます。次に発現頻度と程度によって予後と相関関係があるかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、カルテ番号 等

試料：病理検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：講師 宮本守員